

松風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 石川 元亨

平成23年度 総括幹事会開催

第3回

2月18日に新松戸キャンパス特別会議室にて、本年度最後となる第3回幹事会が開催された。本部役員および全国より地域支部長（幹事）ら 34名が出席しました。まず、石川会長より挨拶、次に池澤事務局長の司会で議事を進めました。今回は役員人事と本年度の事業の総括と来年度の事業計画（案）の検討でした。



会議風景



事務局報告

審議事項

1. 平成23年度収支決算（案）について
2. 平成24年度収支予算（案）について
3. 役員改選および幹事、支部長人事について

イ、現役員（会長、副会長）は会則により今期で任期満了（再任限度満了）となり退任（予定）となった。来期よりは顧問として引き続き校友会活動を支援して頂くこととなった。

現	来期
石川元亨 会長	顧問
渡邊佳昭 副会長	顧問
伊達和夫 副会長	顧問

退任の挨拶は後掲

ロ、新役員の見学協議を行ったが特に出席幹事よりの人事提案は出なかった。

よって石川会長試案（事務局案）が示され満場一致で承認され、以下のごとく決まった。

会長	佐藤克実	（1期）
副会長	田中博也	（4期）
会計監査は留任		

（但し総会にて正式決定予定、他の人事も同様）

ハ、校友会幹事立候補の届出について

（3月15日締め切り済み）

■本年度末で任期2年を満了する幹事の再任希望の立候補の届出手続きについて

■一般会員で新たに幹事候補を希望する方の手続きについて（賛同者3名の推薦が必要）

■支部長は自動的に幹事となる。（手続き不要）支部長を退任したら幹事も自動的に退任となる。

*今回は既に終了しましたが今後とも幹事立候補希望される方は事務局にて手続きの詳細をご確認下さい。（ホームページにてのご案内しております）

ニ、個別人事

青森支部
秋山支部長 退任 転勤の為

桜庭均氏 （4期）新任
千葉支部
菅谷支部長 辞任 健康上理由
羽田昇氏 （1期）支部長代行
埼玉支部
桜井支部長 退任 県外転出の為
現在 選考中

4、組織図の改定について

従来は幹事会の下部組織のごとく各支部がある様に表示されていましたが、実態の通り現場会員組織が校友会活動の基幹である事から幹事会等本部組織と同レベル、並列表示とした。

5、組織活性化について

福井、石川、富山各県を1ブロックとし、北陸支部として運営すべく組織の具体化をめざし調整したが設立総会開催までには至らなかった。

山形、山梨両県については手つかずのまま

*未組織地域は上記のみなので、引き続き来年度も具体化に取り組む

平成23年度決算・24年度予算（案）

項目 (単位千円)	23年度実績		24年度予算		
	内訳	計	内訳	計	
前年度繰越		197613		202741	
収入の部	会費収入	11400		12240	
	利息収入	677		665	
	小計		12077	12905	
収入計		209690		215646	
支出の部	運営活動費	行事費	1837		2024
		会議費	3016		4240
		広報費	1609		1702
		事務費	2		190
		雑費	19		63
		小計		6485	8219
	援助費	大学祭援助費	380		660
		諸行事援助費	83		1000
		備品援助	0		0
		小計		463	1660
支出計		6948		9878	
翌年度繰越		202741		205768	

平成23年度活動報告

5月21日 第1回幹事会開催	11月12日 近畿支部総会開催
7月17日 中国東支部総会開催	11月19日 神奈川支部総会開催
9月10日 第2回幹事会開催	11月26日 新潟支部総会開催
9月17日 四国支部総会開催	11月26日 千葉支部総会開催
9月24日 流経大観光クラブ 支部総会開催	12月17日 群馬支部総会開催
	12月17日 6期生同期会開催
10月22日 秋田支部総会開催	12月18日 社会福祉会支部総会 開催
10月30日 茨城支部総会開催	
11月5日 北九州支部総会開催	平成24年
11月5日 青森支部総会開催	2月18日 第3回幹事会開催
11月12日 栃木支部総会開催	2月25日 みちのく支部総会開催
11月12日 岩手支部総会開催	2月25日 韓国支部総会開催

役員退任のご挨拶

校友会会長 石川元亨

この度、会長の職を辞するに際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

平成18年に新松戸キャンパスで行われた第2回「ホームカミングデー」と同時に開催された総会で会長に選任されてから、3期6年の歳月が経過しました。

会長就任にあたり、まずは新役員の選出、会則の改正及び各運営規定の制定、そして幹事会と事務局の強化を行いました。それは校友会の目的である「会員相互の親睦」と「母校の発展」のためには校友会組織の強化が最優先課題だと考えたからです。そのために、国内外を含めた各地域支部の活性化に努めてきました。海外では台湾、韓国で支部総会が、国内でも全国各地で支部総会が開催されました。また、校友会HPも立ち上げられました。

これからも、会員の皆様が校友会活動にさらに積極的に参加していただけたらと望んでいます。

会長在任中、役員、幹事会、事務局の方々与会員の皆様の多大なるご支援とご協力をいただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。

今後の流通経済大学と校友会のますますのご発展を祈念して、ご挨拶いたします。

校友会副会長 渡邊佳昭

校友会副会長 渡邊佳昭 儀 この度校友会規則 第三章(役員)の部)第7条の2項の規定に基づき辞任し、顧問職を拝命することになりました。

思い起こしますと、昭和44年以来病にて逝かれるまで会長として活躍された第1期生の佐藤哲郎氏と、現会長であられ当時の副会長であった石川元亨氏とともに、私は校友会設立の当初から四十有余年の間副会長をしてまいりました。時まさに流通経済大学自体が草創期であり、初期の校友の方々草創期の重き荷を背負って、坂道を登っていく際の拠り所的存在であった校友

会をずうっと見てまいりました。

流通経済大学を隆盛に導くべしとの十字架を背負い、社会に巣立っていった我々、そして私も、就職先(私にとっては日立製作所ですが)での頑張りによる実績作りこそが大学や校友会を盛り立てることと同義だと信じておりました。結果的に、二兎を追うものは一兎も得ずとの例えの如く、校友会の真の基礎づくりの重責を果たすのに十二分の働きができたかどうかは内心紐泥たるところがございますが、少なくとも日立製作所を辞してからは地方の校友会支部の活性化、関東地方で未組織であった各県の支部の設立・校友会ホームページの立ち上げ等に全力を尽くしてきたという自負を持っております。

いつの世も過去の験の如く、歴史の浅い大学の校友会が奮から花を咲かせるのは実は草創時代の者たちがどんどん会社を卒業していくこれからが大切な時期なのであります。これからも顧問としてしっかりと校友会の下支えをしていきたいと考えております。

さて、末筆にあたり、校友諸氏にお伝えしたいことがあります。それは、わが流通経済大学は喜ばしいことに、現在日本の私学の中でも相当高い位置に到達しつつあり、財務体質のみならずいわゆる入試偏差値の点からもその存在感を年々増していることであります。もちろん、校友会員の社会での活躍に対する高い評価がそれを支えております。是非とも皆様にご認識いただきたいのは、数年後に来るべき創立50周年式典こそ真に校友の存在価値を天下に示すタイミングであり、かつ事蹟を残すべき時であり、同時にその時こそ、共にあの懐かしのキャンパスへ帰帰を果たすべき時なのであるということでもあります。

なお、私自身は長年の夢であった医道の世界(東洋医学…鍼灸医学)へ新たな挑戦を始めております。その意気や軒昂とし流通経済大学の校友として、さらに、輝いて行きたいと願っております。校友諸氏の益々のご活躍を祈念し筆を置きます。不滅なり!流通経済大学万歳!

校友会副会長 伊達和夫

月日が経つのは早いもので、6年の任期満了を迎えることになりました。

東日本大震災から1年が過ぎ、なお震災の爪痕は癒えず、福島原子力発電所の過酷事故の影響は、今尚、計り知ることができない状況にあります。

電気料金値上げ、消費税の改定等、経済情勢の厳しさが増すばかりではありますが、街には物資が山積みされ、高級な自家用車が疾走しているのもまた現実です。

皆で知恵を出し合えば、越えられない困難はないと信じ、気長く、心穏やかに、今日を過ごしたいと思っております。

さて、昨年、還暦を迎えましたが、まだまだ現役での勤めが残っております。

気力・体力の充実を図り、日常の業務に取り組んでまいります。

在任中は、事務局の池澤氏を初めとして、大学事務局の皆様は大変お世話になり、有難うございました。

校友会会員の皆様の益々のご活躍と、流通経済大学の一層の発展を祈念致します。

校 友 の 広 場

中国支部総会

7月17日(日) 松江市 松江東急インにて

11:00~14:00

参加者 中尾増一郎(支部長 1期 鳥取)、左次耕夫(副支部長 1期 島根) 吉岡孝(2期鳥取) 岩田 敏男(3期鳥取) 尾崎正長(20期鳥取) 加藤基秋(23期鳥根) 仲田 敦美(鳥取25期) 石川 元亨(会長1期)、黒田 義一(事務局8期)

議 題

1. 開催県挨拶

左次中国東副支部長より、開会および開催県を代表しての挨拶

2. 校友会長挨拶

石川校友会長より、本日の総会開催に対する御礼の挨拶

3. 自己紹介

着席順に自己紹介を行った。

4. 議 事

中尾東支部長より、本日の総会開催に至る経緯について報告があった後、中国東支部の平成22年度活動状況、同収支決算および平成23年度収支予算等について審議され、承認された。特に、中国東支部の今後の運営について、鳥取・島根県のほか岡山県を含めた組織の活性化を図る必要から、役員の選出を考えたいと説明があり、平成25年3月末で支部長が任期満了になることから、若手の起用を図りたいと補足した。

5. 大学及び校友会の現状

左次副支部長の指名により、校友会事務局の黒田から、入試状況や就職状況等の大学の現況について報告した。特に、近年、サッカー、ラグビーおよび柔道等のスポーツの分野において、本学学生が活躍していると報告した。なお、リーマンショック以降の学生の就職率が低迷していることや、少子化に伴う学生確保が重要課題となっていることから、今後、日本通運をはじめとする関係団体や校友(卒業生)の一層の協力をお願いしたいと付言した。次に、石川会長より、校友会の現状について報告があり、特に、地域支部の設立状況と幹事会の審議事項について、詳細に説明があった。

6. その他

大学を卒業してもなかなか大学を訪問する機会が少ないので、本部からの支部総会への参加は大変有り難く、今後も継続して欲しいとの要望があった。また、大学や龍ヶ崎周辺の当時と現在の写真で見る企画を「RKU TODAY」で特集して欲しいとの要望があった。その後、懇親会では親睦を深めるとともに、盛会のうちに終了した。終了後、中尾東支部長のご配慮により二次会が設定され、うち6名が参加した。

秋田支部総会

10月22日(土) 秋田市 迎賓館駅前店にて

16:00~19:00

参加者 我妻実(支部長 1期) 佐藤尚(1期)、高橋満(4期) 渡辺雄史(5期) 藤原哲博(6期) 一関 勝彦(6期) 加賀宏明(13期) 石川裕(18期) 石川 元亨(会長 1期) 小原文男(みちのく支部長 7期) 黒田義一(事務局 8期) (計11名)

議 題

1. 支部長挨拶

我妻支部長より、昨年度総会に出席された大友幾雄(5期)氏の逝去を悼み、出席者全員で黙祷を捧げた後、当会を代表して開会の挨拶を行った。

2. 校友会長挨拶

石川校友会長より、本日の総会開催に対する御礼の挨拶とともに、校友会の現状についての報告があり、特に、地域支部の活動状況と幹事会の審議事項について、詳細に説明があった。

3. 自己紹介

その後、卒業年順に自己紹介を行った。

4. 議 事

我妻支部長より、本日の総会開催に至る経緯について報告した後、平成22年度の秋田支部総会の議事内容について説明があり、続いて、活動状況および収支決算等について審議され、承認された。特に、秋田支部の今後の運営を含めた組織の活性化を図る必要から、次期役員の選出を考えたいと提案があり、次年度総会で選出することとなった。

5. 大学及び校友会の現状

我妻支部長の指名により、校友会事務局の黒田から、入試・就職状況を主体とした大学の現状について報告した。特に、近年、サッカー、ラグビーおよび柔道等のスポーツの分野において、本学学生が活躍していることを説明した。また、リーマンショック以降の学生の就職率が低迷していることや、少子化に伴う学生確保が重要課題となっていることから、今後、日本通運をはじめとする関係団体や校友(卒業生)の一層の協力をお願いしたいと付言した。

6. その他

今回の出席者は、大学を卒業して大部経過している方々が多いこともあり、配布した大学案内を見ながら、最近の大学の変貌ぶりに驚いている様子であった。

その後、懇親会では親睦を深めるとともに、昨年度と同様に、盛会のうちに終了した。

終了後、石川会長の提案により小原氏の案内を受け、私を含めた3名で故佐賀井前支部長の奥様(居酒屋経営)を尋ねた。

(文責:黒田)

青森支部総会

11月5日(土) 青森市ウェディングプラザ『アラスカ』にて

117:00~19:00

出席者(7名) 支部長 秋山洪志(11期) 桜庭均(4期) 土田祐太郎(11期) 千葉修(23期) 岡部詩(27期) 渡邊幸司(39期) 本部 赤石守(10期)

内 容

校友会青森支部長秋山洪志氏から開会の挨拶があった。

(1) 支部長交代について

現秋山支部長が転勤により、住所が新潟に代わるため支部長を交代したいと話があり、秋山支部長から、4期生の桜庭均氏にお願いしたいとの提案があった。全員が賛成し、また、桜庭氏もこれを快諾し、支部長交代が決定した。

ここで、新支部長から挨拶があり、次回以降青森支部の更なる活性化を図っていき、もう少し参加人数を増やしたいと話した。

(2) 大学の近況報告

赤石(10期)から大学の近況について報告した。

懇親会

総会と同じ会場において、青森支部参加者の懇親を深め、また、次年度以降参加者を募るための方策について活発に意見交換がなされた。また、ロンドンオリンピックにおいて本学関係者の活躍に期待がよせられた。

以上、

栃木支部総会

11月12日(土) 宇都宮市タイ料理の店 メナム駅東店にて

17:00~19:00

出席者 8名(8名の他に当日欠席2名) 椎名功(1期) 石戸清治(6期) 石崎剛久(10期) 楡木悦夫(10期) 生井克延(14期) 内田宏彰(19期) 野口和夫(20期) (本部:中澤聡(21期))

内 容

(1) 開会の辞

副支部長石戸清治氏より、総会の進行役になることと開会の挨拶があった。

(2) 支部長挨拶

支部長椎名功氏より総会開催にあたっての挨拶があった。

(3) 大学の近況報告

中澤より大学の近況及び入試・就職状況について、大学案内等資料にもつき報告した。

(4) 決算及び活動報告

支部長椎名功氏より、栃木支部の決算報告及び活動状況の報告があった。

(5) 今後の活動計画

栃木支部が2009年7月に結成し2年が経過した。具体的な支部活動にはまだ至っていないが、今後の支部の活性化を図るため、支部長、副支部長には再任していただくことで全員賛成した。

また役員等の組織作りを進め、どのような具

校 友 の 広 場

体的な活動を行うか話し合った。一方的な情報発信だけでなく、会員610名がコミュニティとしてどんどん活用していくべき。同期ごとに幹事や係といった役割を持たせ、連絡も取りやすいのでは。また県内地区ごとや、大学時代のクラブ、仕事上のつながりでもよい。異業種交流の場になるとおもしろい。連絡はハガキに限らず、メールリストを利用すれば費用もかからず情報発信できる。住所や連絡先といった個人情報情報を本部と支部でリンクさせたり、また本部にも情報を送り発信してもらうことで活性化を図りたい、など活発な意見交換がなされた。

懇親会

総会に引き続き同じ会場にて進んだ懇親会では、本学クラブ活動の活躍ぶりや、懐かしい大学時代の恩師との思い出、また地元ならではの話にも大いに盛り上がり、懇親を深めた。

近畿支部総会

11月12日（土）大阪市北区ホテルグランヴィア大阪にて

12:30～15:00

参加者 藤浴正人（支部長 1期大阪）、佐澤徹（1期 兵庫）吉村清久（1期大阪）、鷺尾彰一（1期滋賀）神田俊之（2期兵庫）、久保正嗣（2期大阪）森田好昭（2期大阪）、皿谷 善一（3期大阪）井坂一仁（4期兵庫）、福島勝治（4期滋賀）森洋一（4期京都）、春名匡（25期兵庫）森川源太（29期大阪）、黒田義一（事務局 8期）（計14名）

議 題

昨年度の総会において、夕方開催の総会に参加できないとの声が多く、特に、主婦となっているOGの参加を促すことを目的に、今年度は、昼食を兼ねた懇談会形式で開催された。支部総会としては、初めての試みであろう。参加人数が14名ということで、2テーブルに分かれたが、同年代同士が同じテーブルにつくのは、自然の流れである。

1. 支部長挨拶

藤浴近畿支部長より、開会の挨拶と本日の総会開催に至る経過報告とともに、支部旗のお披露目があった。

2. 乾 杯

続いて、藤浴支部長の指名により、校友会事務局の黒田が乾杯の音頭をとり暫時、歓談の時間を持った。

3. 自己紹介

1時間ほど経過した後、着席順に大学時代の思い出や近況を含めて自己紹介を行った。大学設立の初期の時代、何もなかったところから作り上げてきた先駆者である諸先輩方のご苦勞に、ただただ頭の下がる思いである。

また、2期生の小谷正彦氏（兵庫）の急逝の報に接し、お悔やみを申し上げたい。

そのような中で、近畿支部や大学に対する要望等がいくつか寄せられたので、以下に記述する。

① 今回で3回目の総会となるが、例年、参加者が少ない。現役世代の参加は、難しいと思うが、ロコミ等で広めるとともに、特に、5～24期のOB・OGの参加について、積極的に勧めて貰いたい。場合によっては、返信のないOB・OGに再度通知し、出席予定者を知らせることも必要では。

② 在学当時の恩師に再会したいとの希望が多く、佐伯学園長や名誉教授の支部総会への出席について検討願いたい。

③ 2015年度に創立50周年を迎えることになる。大学として周年事業を検討していることと思うが、校友会としての周年事業を早めに決定し、OB・OGに周知して欲しい。

④ 学生の就職活動が厳しい状況にあり、職業観や職業意識の希薄な学生が多いとのこと。在学生に対してお手伝いできることであれば、些細なことでもボランティアでお引き受けし、動機付けをしたい。Etc.

4. その他

今回は、総会としての審議は行われなかったが、最後に、藤浴支部長から近畿支部の今後の在り方について私見を述べられ、全員で校歌を斉唱し、盛会のうちに終了した。

終了後、藤浴支部長のご配慮により、北新地において二次会が設定され、うち7名が参加し、カラオケで大いに盛り上がった。中でも、プロ顔負けの歌唱力や物まね名人の存在を通じて、関西人のバイタリティを垣間見る思いであった。その後、藤浴支部長を含め5名が三次会へと移動し、延々9時間、飲み続ける結果となった。時節柄、くれぐれもお体にはご自愛の程を願うばかりである。

神奈川支部総会

11月19日（土）横浜駅前『加登屋茶屋』にて

17:00～20:30 出席者 26名

内 容

司会：愛場清彦副支部長（2期）

(1) 支部長挨拶

支部長の広瀬秀夫氏（2期）から開会のあいさつがあった。

(2) 来賓挨拶

神奈川県在住の森尾忠憲名誉教授から、在学時代の思い出を交えながら挨拶があった。

(3) 議事

①役員改選について

校友会神奈川支部が立ち上がって2年となるため、会則により支部長改選の時期となったと説明があり、出席者より広瀬支部長に再度お願いしたいとの意見が出され、全員一致で広瀬支部長の再任が承認された。

また、広瀬支部長から、他の役員については再任でお願いしたいとの説明があり、了承され、学年幹事については、1期生の軍司幸雄氏及び4期生の中台隆一氏、そして今日出席の10期生以上の全員に学年幹事をお願いしたいと説明があり了承された。

②会計報告について

会計の小林裕氏（3期）から23年11月11日現在の収支決算報告があった。また、会計監査の天海正一郎氏所要により欠席のため、広瀬吉英氏（1期）から、監査報告があり、収支決算について了承された。

5. 懇親会

議事が終了した後、懇親会を実施した。その中で、大学の近況を校友会本部の赤石から報告した後、参加者全員のスピーチを行うなど、懇親を深めた。以上、

新潟支部第6回総会

11月26日（土）新潟駅前 東急インにて



午後2時より。

新潟はこの時季冬の入り口と言うことで雨やら風など天候が不順な日が続きます。前日までそんな日が続いていましたが当日は晴れて外出には丁度良い日となりました。

今回の開催は大学の新潟地区父母懇談会の日程にあわせました。大学関係者の多くの参加も得て大学の現状を聞いたり意見を交換しようという希望がありました。結果、総勢22名の参加をもって開催されました。

（参加名簿後記）

また、今回は本部より支給された支部会旗（韓国支部会員に製作依頼されたもの）

校 友 の 広 場

が会場に掲げられ組織の存在感をおおいにアピールしました。

式次第については事前に配布してありましたが、急きよ参加者から飲みながらのほうが手取り早いとの動議(?)により、議事と宴会を同時進行することとなりました。

ということで、校友会本部より出席をいただいた石川校友会長の開会の挨拶と乾杯の音頭にて会は始まりました。ついで大学の片山教授より大学の現状を交えてご挨拶をいただきました。

しばし歓談。つぎに、捧支部長より新潟支部の現状と運営方針についての報告がありました。

1. 今までの新潟支部運営の経過及び人事
2. 今回の支部総会開催に伴う支部会員数の動向についておよびそれへの取り組み

名簿把握数 (今回案内)	376名
出席	17名
欠席 返信有	58名
内 次回出る	8名
氏名不詳	3名
抹消	15名
現住所県外	10名
死去	2名
住所無	3名
無回答	286名

・取り組み対象

・376名の管理は個別対応では支部負担では無理、今回も本部支援を受けた

・継続して取り組むべき組織活性化対象と負担程度 現役リタイア層—新規校友会員のuターン組

・現実としては

・クローズされた会員間の親睦—
—支部組織内での独自運営は可能

定期、不定期会合出席者 30名弱
これをベースとしたネットワークの拡大

・連絡が有効な人数 75名前後

これでも独自管理は難しいか?

3、他支部運営例と当支部の当面の取り組み

・支部運営会費、規約策定、役員の詳細分担などの取り組み例

・もう少しネットワークが固まるのを待つ
か時間余裕持てる会員層の増加、継続総会出席者の増加などに期待しよう少し現在の定期会合の形で続けるか今回はあえて結論をださず、交流会の中で意見交換して欲しい

4、人事

現在1名欠員となっている副支部長に和田氏を推薦し承認された。

次に大学事務局(兼校友会事務局)宮本氏より配布資料に基づき大学の現状等について詳細な報告がありました。とくに学生運動部の多方面にわたる活躍の報告には大いなる感動をもって受け止められました。

以上40分をもって事務的な総会議事はめでたく終了し、本格的な交流会へと移りました。

今回、特記すべきは初めて女性会員の参加を得たことでした。当初支部事務局では名簿上で

女性の参加とは把握できず当日受付で初めて知った次第でした。これにより大いに座が和みしました。

交流会は今回は配布名簿上の若い方からの自己紹介を挟みながら進みました。なお支部長よりこの辺は大いに盛り上がり歯止めをかけないと所要時間内には終わらないので持ち時間を守るようにと強いお達しがありました。

自己紹介では大学時代のなつかしい先生の名前、忘れかけた龍ヶ崎の地名、各種イベントの思い出などが飛び出し、大いに懐かしさにひたりました。また会員の各々の場での活躍の報に大学の積み重ねた年月におもいをいたしましたのでした。

時間も半分以上経過すると座もおおいにばらけ、各々の挨拶、名刺交換、話し込みなど大いに交歓を深めたのでした。計画した時間はあっという間に過ぎました。

最後に、星氏の音頭で校歌斉唱、万歳三唱と締めくり次回の再会を約したのでした。

出席者

校友会本部 石川会長 大学 片山教授
事務局 宮本 仲川 大塚
支部会員 三浦司郎(1新潟市) 星和成
(3新潟市) 捧新平(4三条市) 平沢真
(7長岡市) 関崎優(9三条市) 鈴木俊彰
(10新潟市) 佐藤實(11加茂市) 秋山
洪志(11新潟市) 和田祐一(12新潟市)
) 丸山達典(17新潟市) 鈴木隆夫(1
(9新潟市) 縣芳幸(23新潟市) 田辺
義之(30新潟市) 吉田一郎(31柏崎市)
) 五十嵐美季(32胎内市) 須貝隼人(3
4新発田市) 1名 匿名

以上

千葉支部総会

11月26日(土) 大学新松戸キャンパスにて

13:00~14:30

参加者 菅谷清(支部長1期) 羽田昇(副支部長1期) 長沼 和夫(会計1期) 木村裕司(1期) 西山尚(2期) 桜井安男(2期) 田中博也(4期) 林義治(4期) 仁平晴美(7期)、丹尾雅明(11期) 新井義一(14期) 飯島良隆(14期) 金子正(14期) 稲葉公一(23期) 中島幸司(28期) 松本一洋(28期) 平岡堯志(41期) 霞健太郎(42期) 黒田義一(事務局8期) (計19名)

議 題

羽田千葉副支部長の司会進行により、以下のように進められた。

審議の前に、一昨年の設立総会に参加された副支部長の木村豊樹(5期)氏の逝去を悼み、参加者全員で黙祷を捧げた。

1. 支部長挨拶

菅谷千葉支部長より、開会の挨拶と本日

の総会開催に至る経緯について報告があった。

2. 大学及び校友会の現状

続いて、校友会事務局の黒田から、入試就職状況を主体とした大学の現状並びに校友会の活動内容と各支部の状況について報告した。特に、付属高校・大学のサッカー、ラグビー等のスポーツの現況について詳細に説明した。

3. 審議事項

(1) 支部活性化(組織化)について

菅谷支部長より、今回の総会の参加予定者が26名と予想外に少なく、近い将来茨城県支部をしのぐ会員数を持つことになるので、千葉支部の活性化(組織化・細分化を含めて)のために、ご意見をいただきたいとの提案があった。

参加者から出た意見は、要約すると次のとおり。

① 郵送による総会の案内について、回収率が6%未満であり、郵送料の問題も含めて案内方法を再検討する必要がある。

② 出欠の返信葉書を出すのが面倒に感ずる者が多く、費用の問題もあるが、Webを通じての出欠連絡やE-mailでの住所変更手続の導入を検討してはどうか。

③ なかなか現役世代が支部総会に参加するのは難しい状況にあるが、もっと若い世代が集まれる工夫が必要である。

④ 校友会の情報が少なく、特に、校友会のホームページの速やかな更新と充実を望みたい。Etc.

最後に、菅谷支部長から、これらの意見・要望について、次回の本部幹事会において報告したいと補足した。

(2) 収支報告について

長沼会計より、千葉支部設立時(2009年11月8日)以降の決算について、資料をもとに報告し、承認された。

(3) 支部役員交代について

菅谷支部長より、健康上の理由から任期途中であるが支部長を退任したいと発言され、後任が決定するまで、副支部長の羽田 昇氏が支部長代行に指名したいと提案された。続いて、羽田副支部長より、千葉支部も設立されて間もなく、組織や役員構成が必ずしも十分ではない。

本支部は、近い将来、校友会の最大支部となることから、今後の運営を行う上で、しっかりとした組織作りが必要であり、まず、前回の設立総会及び本日参加の皆様方全員に幹事に就任いただき、近日中に幹事会を開催して支部長、副支部長および会計監査を推薦し、来年の総会に提案したいと説明した。

今後、必要の都度幹事会を開催することが承認され、12月3日(土)13時から新松戸キャンパスで幹事会を開催することとなった。

4. その他

校 友 の 校 広 場

時間の関係もあり、懇親会に移った。

懇親会では、丹尾 雅明（11期）を除く18名が参加し、大学時代の思い出や近況報告等について、自由に懇談する有意義な2時間となった。

終了後、新松戸イルミネーションの点灯式が、新松戸キャンパスで行われ、数名の会員が見学されたようである。寒い中の見学に、御礼を申し上げたい。

北海道支部総会

首題につき、12月3日（土）に無事終了いたしました。

残念ながら今年は6名の出席（去年は8名）となってしまいましたが、思いがけず、会の途中で、欠席の帯広市在住の武者啓一さん（2期）より電話が入るなど学生時代に戻り大いに盛り上がりしました。

次回には本部の方も是非ご出席いただきたく存じます。

出席者：伊関 義和（5期） 辻 伸之（6期） 関本 直昭（11期） 日野 涉（12期） 金子 英雄（12期） 山本 浩晶（24期）
以上 ご報告申し上げます。

社会福祉会第9回支部総会

12月18日（土）大学龍ヶ崎キャンパスにて

総会 報告

流通経済大学社会福祉会の第9回目となる平成23年度の総会が行われました。

参加人数は11人と少なめでしたが、遠くは静岡県から参加された方もおり、和やかな雰囲気の中、昨年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算の審議が行われました。

また、総会後には研修会として我らの恩師、社会学部 佐藤克繁先生より話題提供を頂き、最近の流大の状況から社会福祉士を取り巻く環境、更には、これまでの先生の生き様を通して生きるということについても考えられる非常に有意義な研修会が行われました。

そして、その後は、お決まりの懇親会ということで、佐貫駅前の居酒屋で楽しく議論が交わされました。

みちのく支部総会

2012年2月25日（土）キリンピアフェスタ仙台駅前店

17:00～19:00

参加者 小原 文男（支部長 7期）、瀬川 光蔵（1期） 岩田 暁（4期）、渡辺 雄史（5期）、今野 晶則（10期） 西方 正博（12期）、佐藤 元彦（13期）、小野 寺秀典（15期） 蜂谷 直之（18期）、鈴木 真一（29期）、高山 達哉（29期） 竹下 太郎（32期）、目黒 誠（32期）、谷 和明（33期） 太田 芳典（35期）、阿部 和哉（35期）、齊藤 淳史（38期） 我妻 実（秋田支部長 1期）、黒田 義一（事務局 8期） （計19名）

議 題

1. 支部長挨拶
小原みちのく支部長より、開会の挨拶と本日の総会開催に至る経過報告があり、本日は、より一層の親睦を深める懇談の場にしたと補足した。
2. 大学及び校友会の現状
小原支部長の指名により、校友会事務局の黒田から、大学の現状と校友会の活動状況について報告した。
3. 会計報告
次に、会計の小野寺秀典氏より2011年度の収支報告と、会計監査の西方正博氏より監査報告があり、承認された。
4. 乾 杯
続いて、出席者を代表して瀬川光蔵氏が乾杯の音頭をとり、暫時、歓談の時間となった。
5. 自己紹介
30分ほど経過した後、着席順に大学時代の思い出や近況を含めて自己紹介を行った。
6. そ の 他
今回は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、開催時期を延期しての開催である。
みちのく支部は、発足後、30年以上の歴史を持っており、会員相互の結束率の高い地域でもある。
例年7月頃に総会が開催されているが、このような災害があったからこそ、団結しようとの会員の声が上がリ、この度の開催にこぎ着けたと伺っている。
歓談の中でも、将来的には、東北地方の会員の結束を図ることを目的に、関係支部と協調して、地域支部（東北支部）としての組織固めを目指したいとの構想や、仙石線の中断にも拘らず、5時間もかけて出席された齋藤淳史氏に敬意を表し、東北魂というか、東北人の絆の深さを

を痛感せずにはられない。
この度の未曾有の災害に対して、あらためてお見舞いを申し上げたい。

終了後、国分町において二次会が開催され、うち8名が参加し、懇親を深めるとともに、カラオケ等で盛り上がったことは言うまでもない。

（文責：黒田）

記事募集 会員同士の交流の情報をお寄せください。飲み会、記念パーティー、ゴルフ会、クラブ OB会など。また、学生時代の思い出などでも結構です。はがき、手紙、メールなどでまずお知らせください。必要ならこちらからご連絡致します。

校友会事務局 会報係まで